



2017年12月14日

各 位

会 社 名 王子ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 矢嶋 進  
(コード：3861、東証第1部)  
問合せ先 取締役常務グループ経営委員  
コーポレートガバナンス本部長  
武田 芳明  
(TEL. 03-3563-1111)

(訂正)「平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2017年2月6日に発表した表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容につきましては12月14日付「2018年3月期第2四半期報告書の提出、過年度の有価証券報告書等の訂正、平成30年3月期第2四半期決算短信の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」、理由につきましては11月13日付「2018年3月期第2四半期報告書の提出期限延長に係る承認申請書提出に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正後の全文には訂正した箇所に下線\_\_\_\_を付して表示しております。

以上

(訂正後)



領域をこえ 未来へ



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月6日

上場会社名 王子ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3861 URL http://www.ojiholdings.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢嶋 進
問合せ先責任者 (役職名) 常務グループ経営委員コーポレートガバナンス本部副本部長 (氏名) 武田 芳明 TEL 03-3563-1111
四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

Table with 5 columns: 売上高, 営業利益, 経常利益, 親会社株主に帰属する四半期純利益. Rows for 29年3月期第3四半期 and 28年3月期第3四半期.

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 Δ29,157百万円 (-%) 28年3月期第3四半期 Δ14,051百万円 (-%)

Table with 2 columns: 1株当たり四半期純利益, 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益. Rows for 29年3月期第3四半期 and 28年3月期第3四半期.

(2) 連結財政状態

Table with 4 columns: 総資産, 純資産, 自己資本比率, 1株当たり純資産. Rows for 29年3月期第3四半期 and 28年3月期.

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 562,914百万円 28年3月期 580,903百万円

2. 配当の状況

Table with 6 columns: 年間配当金 (第1四半期末, 第2四半期末, 第3四半期末, 期末, 合計). Rows for 28年3月期, 29年3月期, and 29年3月期(予想).

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

Table with 6 columns: 売上高, 営業利益, 経常利益, 親会社株主に帰属する当期純利益, 1株当たり当期純利益. Row for 通期.

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	1,014,381,817株	28年3月期	1,064,381,817株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	25,879,298株	28年3月期	75,807,429株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	988,558,435株	28年3月期3Q	988,293,210株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、国内においては、夏場の天候要因等が一時景気下押し方向に作用したものの、堅調な雇用情勢を背景とした個人消費の持ち直し等を受け、景気は緩やかに回復しました。海外においては、米国は雇用情勢の改善が続く中、好調な個人消費等を受けて景気は着実に拡大しました。また、欧州経済も緩やかな金融環境のもとで緩やかな回復が続きました。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 1,050,856百万円（前年同四半期比1.9%減）、営業利益 53,699百万円（同11.0%増）、経常利益 36,227百万円（同21.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 25,209百万円（同10.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### ○生活産業資材

当第3四半期連結累計期間の売上高は、458,073百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

国内事業では、段ボール原紙は堅調に推移し、販売量は前年に対し増加しました。段ボールの販売量はほぼ前年並みでした。家庭用紙は、ティシュペーパー、トイレットロールともに販売量は増加しました。紙おむつは、子供用テープ型は販売量が前年に対し減少したものの、子供用パンツ型、大人用は増加しました。

海外事業では、東南アジアにおいて、段ボール原紙の販売は堅調に推移し、段ボールの販売も飲料・加工食品関連を中心に堅調に推移しました。

#### ○機能材

当第3四半期連結累計期間の売上高は、157,620百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

国内事業では、特殊紙は、新製品開発・新規顧客開拓に注力し拡販を進めてきたこと等により、前年に対し販売量は増加しました。感熱紙の国内販売は堅調に推移しました。

海外事業では、感熱紙の販売量は、北米では減少し、南米・アジアでは増加しました。

#### ○資源環境ビジネス

当第3四半期連結累計期間の売上高は、191,403百万円（前年同四半期比4.7%減）となりました。

国内事業では、溶解パルプが輸出向けを中心に販売好調であり、前年に対し増加しました。また売電事業では、2016年1月の北海道江別市におけるバイオマスボイラの営業運転開始が寄与し売上高が増加しました。

海外事業では、木材事業は、Pan Pac Forest Products Ltd.での拡販及び市況上昇により、前年に対し売上高が増加しました。パルプ事業は、江蘇王子製紙有限公司生産品の拡販等により前年に対し販売量は増加しましたが、売上高は市況軟化及び外貨建売上高の円換算額が円高により減少した結果、減少しました。

#### ○印刷情報メディア

当第3四半期連結累計期間の売上高は、220,181百万円（前年同四半期比5.1%減）となりました。

国内事業では、新聞用紙の売上高は、発行部数減の影響等により前年に対し減少しました。印刷・情報用紙の売上高は、需要減及び市況軟化の影響等により前年に対し減少しました。

海外事業では、江蘇王子製紙有限公司が順調に販売を伸ばし、前年に対し印刷用紙の販売量が増加しました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、為替変動の影響による在外子会社の資産の円換算額の減少等により、前連結会計年度末に比し51,656百万円減少し、1,857,826百万円となりました。

負債は、有利子負債残高の減少等により、前連結会計年度末に比し18,536百万円減少し、1,179,716百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比し33,120百万円減少し、678,110百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2016年11月7日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。今後、連結業績予想の修正が必要と判断した時点で速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 2016年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

(2) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 2016年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,968	57,461
受取手形及び売掛金	285,954	300,972
有価証券	7,486	8,108
商品及び製品	98,145	92,868
仕掛品	18,921	21,138
原材料及び貯蔵品	80,109	77,429
その他	52,885	44,453
貸倒引当金	△3,438	△1,707
流動資産合計	584,033	600,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	210,014	204,061
機械装置及び運搬具(純額)	424,962	369,753
土地	237,433	238,049
その他(純額)	240,612	223,408
有形固定資産合計	1,113,022	1,035,272
無形固定資産		
のれん	9,836	9,023
その他	13,167	12,065
無形固定資産合計	23,004	21,089
投資その他の資産		
投資有価証券	148,121	157,731
その他	42,922	44,597
貸倒引当金	△1,620	△1,590
投資その他の資産合計	189,423	200,739
固定資産合計	1,325,450	1,257,101
資産合計	1,909,483	1,857,826

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	198,167	226,874
短期借入金	178,157	190,713
コマーシャル・ペーパー	27,000	9,000
1年内償還予定の社債	20,020	40,000
未払法人税等	7,354	8,177
引当金	3,553	3,588
その他	81,825	83,896
流動負債合計	<u>516,079</u>	<u>562,250</u>
固定負債		
社債	120,000	80,000
長期借入金	432,556	396,044
引当金	7,412	7,348
退職給付に係る負債	52,207	53,833
その他	69,996	80,239
固定負債合計	<u>682,173</u>	<u>617,466</u>
負債合計	<u>1,198,252</u>	<u>1,179,716</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	103,880	103,880
資本剰余金	112,857	112,548
利益剰余金	348,799	335,625
自己株式	△42,638	△14,392
株主資本合計	<u>522,899</u>	<u>537,662</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,316	36,008
繰延ヘッジ損益	△771	△800
土地再評価差額金	5,463	5,921
為替換算調整勘定	39,828	△5,862
退職給付に係る調整累計額	△11,833	△10,015
その他の包括利益累計額合計	<u>58,003</u>	<u>25,251</u>
新株予約権	260	275
非支配株主持分	130,066	114,920
純資産合計	<u>711,230</u>	<u>678,110</u>
負債純資産合計	<u>1,909,483</u>	<u>1,857,826</u>



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
売上高	1,071,212	1,050,856
売上原価	<u>829,915</u>	<u>804,858</u>
売上総利益	<u>241,297</u>	<u>245,997</u>
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	106,121	104,859
その他	86,790	87,437
販売費及び一般管理費合計	<u>192,912</u>	<u>192,297</u>
営業利益	<u>48,385</u>	<u>53,699</u>
営業外収益		
受取利息	1,101	788
受取配当金	2,897	2,737
持分法による投資利益	<u>6,968</u>	<u>1,099</u>
その他	<u>3,704</u>	<u>3,476</u>
営業外収益合計	<u>14,672</u>	<u>8,102</u>
営業外費用		
支払利息	7,903	5,342
為替差損	3,979	15,477
その他	5,296	4,755
営業外費用合計	<u>17,178</u>	<u>25,575</u>
経常利益	<u>45,879</u>	<u>36,227</u>
特別利益		
固定資産売却益	89	6,993
その他	8,406	2,003
特別利益合計	<u>8,495</u>	<u>8,997</u>
特別損失		
減損損失	4,515	1,973
固定資産除却損	1,246	1,279
その他	1,887	1,124
特別損失合計	<u>7,649</u>	<u>4,377</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>46,725</u>	<u>40,847</u>
法人税、住民税及び事業税	15,215	9,270
法人税等調整額	<u>△646</u>	<u>6,553</u>
法人税等合計	<u>14,569</u>	<u>15,823</u>
四半期純利益	<u>32,155</u>	<u>25,023</u>
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	<u>3,951</u>	<u>△185</u>
親会社株主に帰属する四半期純利益	<u>28,204</u>	<u>25,209</u>

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
四半期純利益	32,155	25,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,194	10,444
繰延ヘッジ損益	△157	△29
土地再評価差額金	9	—
為替換算調整勘定	△41,884	△66,285
退職給付に係る調整額	1,004	1,672
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,984	16
その他の包括利益合計	△46,206	△54,181
四半期包括利益	△14,051	△29,157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,147	△9,786
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,903	△19,371

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2016年5月13日開催の取締役会決議に基づき、2016年5月31日付で、自己株式50,000,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が27,039百万円、資本剰余金が1,076百万円及び自己株式が28,116百万円それぞれ減少しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	生活産業 資材	機能材	資源環境 ビジネス	印刷情報 メディア	計				
売上高									
外部顧客への売上高	420,289	145,048	167,335	210,081	942,753	128,458	1,071,212	-	1,071,212
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,607	13,533	33,595	21,840	99,577	70,394	169,971	△169,971	-
計	450,897	158,582	200,930	231,921	1,042,331	198,853	1,241,184	△169,971	1,071,212
セグメント利益 又は損失(△)	13,055	8,953	<u>20,241</u>	△322	<u>41,927</u>	5,396	<u>47,323</u>	1,061	<u>48,385</u>

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産、エンジニアリング、商事、物流他を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,061百万円は、主として内部取引に係る調整額です。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	生活産業 資材	機能材	資源環境 ビジネス	印刷情報 メディア	計				
売上高									
外部顧客への売上高	425,934	144,744	153,727	199,834	924,241	126,615	1,050,856	-	1,050,856
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32,138	12,875	37,676	20,346	103,036	71,754	174,791	△174,791	-
計	458,073	157,620	191,403	220,181	1,027,277	198,369	1,225,647	△174,791	1,050,856
セグメント利益	14,992	<u>12,569</u>	<u>14,514</u>	4,480	<u>46,557</u>	6,688	<u>53,245</u>	454	<u>53,699</u>

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産、エンジニアリング、商事、物流他を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額454百万円は、主として内部取引に係る調整額です。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月6日

上場会社名 王子ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3861 URL http://www.ojiholdings.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢嶋 進  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務グループ経営委員コーポレートガバナンス本部副本部長 (氏名) 武田 芳明 TEL 03-3563-1111  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	1,050,856	△1.9	53,759	8.3	36,575	△24.9	24,299	△17.6
28年3月期第3四半期	1,071,212	8.8	49,651	55.1	48,710	41.0	29,481	60.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △32,404百万円 (-%) 28年3月期第3四半期 △12,465百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	24.58	24.56
28年3月期第3四半期	29.83	29.79

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	1,874,059	694,473	30.6	579.81
28年3月期	1,934,921	730,915	30.7	600.34

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 573,148百万円 28年3月期 593,476百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	5.00	-	5.00	10.00
29年3月期	-	5.00	-	-	-
29年3月期(予想)	-	-	-	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,410,000	△1.6	72,000	△2.3	50,000	△19.8	33,000	116.3	33.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	1,014,381,817株	28年3月期	1,064,381,817株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	25,879,298株	28年3月期	75,807,429株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	988,558,435株	28年3月期3Q	988,293,210株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、国内においては、夏場の天候要因等が一時景気下押し方向に作用したものの、堅調な雇用情勢を背景とした個人消費の持ち直し等を受け、景気は緩やかに回復しました。海外においては、米国は雇用情勢の改善が続く中、好調な個人消費等を受けて景気は着実に拡大しました。また、欧州経済も緩和的な金融環境のもとで緩やかな回復が続きました。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 1,050,856百万円（前年同四半期比1.9%減）、営業利益 53,759百万円（同8.3%増）、経常利益 36,575百万円（同24.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 24,299百万円（同17.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### ○生活産業資材

当第3四半期連結累計期間の売上高は、458,073百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

国内事業では、段ボール原紙は堅調に推移し、販売量は前年に対し増加しました。段ボールの販売量はほぼ前年並みでした。家庭用紙は、ティシュペーパー、トイレットロールともに販売量は増加しました。紙おむつは、子供用テープ型は販売量が前年に対し減少したものの、子供用パンツ型、大人用は増加しました。

海外事業では、東南アジアにおいて、段ボール原紙の販売は堅調に推移し、段ボールの販売も飲料・加工食品関連を中心に堅調に推移しました。

#### ○機能材

当第3四半期連結累計期間の売上高は、157,620百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

国内事業では、特殊紙は、新製品開発・新規顧客開拓に注力し拡販を進めてきたこと等により、前年に対し販売量は増加しました。感熱紙の国内販売は堅調に推移しました。

海外事業では、感熱紙の販売量は、北米では減少し、南米・アジアでは増加しました。

#### ○資源環境ビジネス

当第3四半期連結累計期間の売上高は、191,403百万円（前年同四半期比4.7%減）となりました。

国内事業では、溶解パルプが輸出向けを中心に販売好調であり、前年に対し増加しました。また売電事業では、2016年1月の北海道江別市におけるバイオマスボイラの営業運転開始が寄与し売上高が増加しました。

海外事業では、木材事業は、Pan Pac Forest Products Ltd.での拡販及び市況上昇により、前年に対し売上高が増加しました。パルプ事業は、江蘇王子製紙有限公司生産品の拡販等により前年に対し販売量は増加しましたが、売上高は市況軟化及び外貨建売上高の円換算額が円高により減少した結果、減少しました。

#### ○印刷情報メディア

当第3四半期連結累計期間の売上高は、220,181百万円（前年同四半期比5.1%減）となりました。

国内事業では、新聞用紙の売上高は、発行部数減の影響等により前年に対し減少しました。印刷・情報用紙の売上高は、需要減及び市況軟化の影響等により前年に対し減少しました。

海外事業では、江蘇王子製紙有限公司が順調に販売を伸ばし、前年に対し印刷用紙の販売量が増加しました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、為替変動の影響による在外子会社の資産の円換算額の減少等により、前連結会計年度末に比し60,861百万円減少し、1,874,059百万円となりました。

負債は、有利子負債残高の減少等により、前連結会計年度末に比し24,418百万円減少し、1,179,586百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比し36,442百万円減少し、694,473百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2016年11月7日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。今後、連結業績予想の修正が必要と判断した時点で速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 2016年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

(2) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 2016年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しています。



3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,968	57,461
受取手形及び売掛金	285,954	300,972
有価証券	7,486	8,108
商品及び製品	98,145	92,868
仕掛品	18,921	21,138
原材料及び貯蔵品	80,109	77,429
その他	52,885	44,453
貸倒引当金	△3,438	△1,707
流動資産合計	584,033	600,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	210,163	204,197
機械装置及び運搬具(純額)	414,754	361,589
土地	237,478	238,094
その他(純額)	275,081	246,922
有形固定資産合計	1,137,477	1,050,802
無形固定資産		
のれん	9,836	9,023
その他	13,167	12,065
無形固定資産合計	23,004	21,089
投資その他の資産		
投資有価証券	149,094	158,859
その他	42,932	44,172
貸倒引当金	△1,620	△1,590
投資その他の資産合計	190,405	201,442
固定資産合計	1,350,887	1,273,334
資産合計	1,934,921	1,874,059

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	198,167	226,874
短期借入金	178,157	190,713
コマーシャル・ペーパー	27,000	9,000
1年内償還予定の社債	20,020	40,000
未払法人税等	7,354	8,150
引当金	3,553	3,588
その他	81,825	83,896
流動負債合計	516,079	562,223
固定負債		
社債	120,000	80,000
長期借入金	432,556	396,044
引当金	6,854	6,790
退職給付に係る負債	52,207	53,833
その他	76,307	80,694
固定負債合計	687,925	617,363
負債合計	1,204,005	1,179,586
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	103,880	103,880
資本剰余金	112,857	112,548
利益剰余金	359,830	345,747
自己株式	△42,638	△14,392
株主資本合計	533,930	547,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,316	36,008
繰延ヘッジ損益	△771	△800
土地再評価差額金	5,463	5,921
為替換算調整勘定	41,369	△5,750
退職給付に係る調整累計額	△11,833	△10,015
その他の包括利益累計額合計	59,545	25,363
新株予約権	260	275
非支配株主持分	137,179	121,049
純資産合計	730,915	694,473
負債純資産合計	1,934,921	1,874,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
売上高	1,071,212	1,050,856
売上原価	828,648	804,799
売上総利益	242,564	246,056
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	106,121	104,859
その他	86,790	87,437
販売費及び一般管理費合計	192,912	192,297
営業利益	49,651	53,759
営業外収益		
受取利息	1,101	788
受取配当金	2,897	2,737
持分法による投資利益	7,347	1,388
その他	4,890	3,476
営業外収益合計	16,237	8,391
営業外費用		
支払利息	7,903	5,342
為替差損	3,979	15,477
その他	5,296	4,755
営業外費用合計	17,178	25,575
経常利益	48,710	36,575
特別利益		
固定資産売却益	89	6,993
その他	8,406	2,003
特別利益合計	8,495	8,997
特別損失		
減損損失	4,515	1,973
固定資産除却損	1,246	1,279
その他	1,887	1,124
特別損失合計	7,649	4,377
税金等調整前四半期純利益	49,556	41,195
法人税、住民税及び事業税	15,215	9,243
法人税等調整額	187	7,787
法人税等合計	15,403	17,030
四半期純利益	34,153	24,164
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4,671	△135
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,481	24,299

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
四半期純利益	34,153	24,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,194	10,444
繰延ヘッジ損益	△157	△29
土地再評価差額金	9	—
為替換算調整勘定	△42,060	△68,539
退職給付に係る調整額	1,004	1,672
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,220	△117
その他の包括利益合計	△46,618	△56,569
四半期包括利益	△12,465	△32,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,198	△12,125
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,266	△20,279

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2016年5月13日開催の取締役会決議に基づき、2016年5月31日付で、自己株式50,000,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が27,039百万円、資本剰余金が1,076百万円及び自己株式が28,116百万円それぞれ減少しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	生活産業 資材	機能材	資源環境 ビジネス	印刷情報 メディア	計				
売上高									
外部顧客への売上高	420,289	145,048	167,335	210,081	942,753	128,458	1,071,212	-	1,071,212
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,607	13,533	33,595	21,840	99,577	70,394	169,971	△169,971	-
計	450,897	158,582	200,930	231,921	1,042,331	198,853	1,241,184	△169,971	1,071,212
セグメント利益 又は損失(△)	13,055	8,953	21,507	△322	43,194	5,396	48,590	1,061	49,651

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産、エンジニアリング、商事、物流他を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,061百万円は、主として内部取引に係る調整額です。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	生活産業 資材	機能材	資源環境 ビジネス	印刷情報 メディア	計				
売上高									
外部顧客への売上高	425,934	144,744	153,727	199,834	924,241	126,615	1,050,856	-	1,050,856
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32,138	12,875	37,676	20,346	103,036	71,754	174,791	△174,791	-
計	458,073	157,620	191,403	220,181	1,027,277	198,369	1,225,647	△174,791	1,050,856
セグメント利益	14,992	12,456	14,687	4,480	46,616	6,688	53,304	454	53,759

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産、エンジニアリング、商事、物流他を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額454百万円は、主として内部取引に係る調整額です。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。